

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 らいおん 組	6 月 17 日 (火)	梅澤

● 実施計画

活動テーマ		
サイエンス ~光~ 光と影の探検ごっこ		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
昨年度から公園で影絵遊びを行っていた為、影絵に興味を持っている様子が見られる。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:10	「光と影ってなに？」を考える	【環境設定】 ・ 懐中電灯について、明るさの確認をしておく。 ・ 暗い環境が苦手な子がいないか等を把握しておく。 ・ 暗転した保育室で災害が発生した場合でも、瞬時に対応ができるよう、避難経路の確保と備品の確認をしておく。 【準備物】 ・ 懐中電灯 ・ 影や反射ができる物品 ・ ホワイトボード、マーカー ■参考資料 ・ 太陽とライトから光が直進する図解 ・ 光の反射の図解 【事前準備】 ・ 探究活動に使用する用具（懐中電灯、鏡など）使用方法をあらかじめ設定しておく。
10:20	・影ができるためには何が必要かを問いかけ発表する。 ・影ができるのは外だけかを問いかけ考える	
10:30	・プラコップにライトを当ててみる ・コップ以外に影が出来そうなものを探し、実際に影を作ってみる ・室内を暗くしたら影はどうか予想する ・実際に照明を消し暗くなると影はどうかやってみる ・実際にやってみて感じたことを話し合う	
10:45	・影がどんなふうに見えたかを発表する ・光の反射についての図を見せ、反射するものとしらないもの予想をする ・次回調べてみることを提案する	

--	--	--

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> ・考えを他人に共有し探究活動が楽しめるようにする。 ・実際に自分たちでやってみることで新たな気づき生まれ探求心が芽生えるようにする ・光と影の関係性に気が付き、光の性質について探求を通して気付いていく 	<p>【子どもの姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保育園に来る時と帰るときの影の形が違った」「お月様にいるうさぎも影じゃない？」と影についての気づきを話す様子が見られた。 ・実際に実験をすることでライトの当て方によって影の長さが違うことに気が付いていた <p>【保育者との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正解のある題材だったが答えにたどり着くことよりも考える時間を大切にできるようにした ・子どもたちが興味を持ったことを広げていけるように心掛けた

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> ・光よりも影に興味を持ち、実験にも意欲的に取り組んでいた ・日常生活の中でも疑問に思っていることがたくさんあり探究活動につながった ・子どもたちの疑問に思うことの幅が広く、質問をされても答えられないことが多かった。うまく探求の活動につなげられるよう導き方を考える必要があると感じた 	<p>この活動は、科学的な発見(科学する心)とごっこ遊びの想像力が融合する、非常に意義のある探検です。子どもたちの「不思議」も保育者も一緒に楽しんでみてください。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 らいおん 組	7 月 3 日 (木)	梅澤

● 実施計画

活動テーマ		
たべもの ~水~ 水ってなに		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
プールの活動が始まり水を身近に感じるが増えている。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:00	水とは何かを問いかけ、考えを発表できるようにする ・水って何？ ・水ってどんなもの？	【環境設定】 水を扱う活動になる為水でぬれる点に留意し、転倒などの事故を防げるようにしておく
10:10	水を透明コップに入れて観察する ・色は何色？ ・においは？ ・コップに注ぐ音は？ ・触った感じは？ 異なる形の容器に入れて形の変化を観察する ・どの容器でも水の形はおなじ？ ・水に形はある？ 水の流れを研究してみる (プール室で行う) ・水の流れは速い？ゆっくり？ ・どうして上から下に流れる？ ・下から上には流れる？ 温度で水がどう変化するか調べる ・水、氷、お湯の温度は？ ・水、氷、お湯の形は？ 探索での発見や感想を発表する ・わかったこと ・水はどんなものだった？	【準備物】 ホワイトボード 透明のプラコップ 氷 スロープ
10:50	次回の探索では保育園にある水を探しに探検に出かけマップを作成することを提案する	

--	--	--

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>透明のコップに入った水の性質を、匂いを嗅いだり、触ってみたりと五感を使って感じていた。水を触った際にコップに手を入れることで手が大きく見えることに気が付き、様々なものを持ってきて実験する様子が見られた</p> <p>氷やお湯との比較では「氷のほうが冷たい」「水は形がないのに氷は形がある」と気が付いたことをその場で言葉にし、共有する姿が見られた</p>	<p>【子どもの姿】</p> <p>・透明コップに入れた水の向こう側が「なんか変な風に見える」と歪んで見えることに気が付き興味を持っていた</p> <p>【保育者との関わり】</p> <p>水は上から下に流れることを子どもたちは知っている様子だったが「どうして下から上には行かないの？」と問うと、各々が考え始め自分の意見を積極的に共有する姿が見られた。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・「水」という、あることが当たり前で深くは考えない題材だったが、ほんの少し見方を変えるだけで子どもたちの中で疑問が生まれ「探求」につなげることが出来た。</p> <p>・「氷が融けたら水になるの？」という問いに、実際に氷をコップに入れて置き部屋の中に置いた。数分おきにコップの中を確認し、持続して興味を持っている様子があった</p>	<p>「水こそが最強の食(栄養)であり、環境」であるという視点を与えてくれる言葉です。日々の食生活において、飲み水だけでなく水分も含んだ食品(水物)への意識を高めることか、良いと考へます。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 らいおん 組	10 月 9 日 (木)	梅澤

● 実施計画

活動テーマ		
アート～色のふしぎ～ 色について知ろう・色を作ってみよう		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
製作の際、絵具を混ぜて好きな色を作ることが多く色については興味を持っている様子がある		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:00	・いろおにをして保育室内にどんな色があるか探す	【環境設定】 ・子ども達が自由に発言できる雰囲気をつくる 【準備物】 ・色画用紙(12色) ・赤、青、黄、紫、白、黒などの原料の写真 ・色彩心理学の見本
10:10	・12色の画用紙の中から好きな色を選ぶ ・選んだ色を見せ合い、理由を発表する	
10:20	・色の原料について調べる ・色彩心理学た寒色、暖色、中性色について簡単に説明をする	
10:30	色にはどんな意味があるのかを知り、色に注目する	
10:40	いろいろな色を作ってみよう	

--	--	--

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> ・好きな色を発表することから始めなぜ好きかも考えられるよう促した ・色の原料をクイズ形式で知らせることで興味を深めていった ・色に対してどんな印象を持つかをグループで話し合い、みんなで共有する時間を設けた 	<p>【子どもの姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな色を発表する際には「優しい感じがするから」などの理由もしっかり伝えていた ・赤の原料に虫が使われていることに驚き、「赤い色を使っている物ってなにがあるかな？」と探究を深めていた <p>【保育者との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが好きな色を発表する際は「どんなところがすきななの？」などと考えるサポートを行った。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> ・色の原料を知った後、それを使っている物は何かあるかまで考えを巡らせている姿を見て、探究心が育っていることを感じた ・実際に絵の具を使って自分の好きな色を作成する過程では、混ぜる比率を変えることで濃くなったり薄くなったりすることに気が付き、実際に体験することの大切さを感じた 	<p style="font-family: cursive;">色の不思議に触れることで、日常の景色が違って見えるような魔法の体験になると良いですね。</p>